お知らせ

書写の評価資料ができました！

小学校「書写」新しい評価のために―
観点別学習状況評価に向けた参考資料

本資料は、平成十四年度版弊社小学校「書写」教科書の教材に即して、各単元の目標に準拠した観点別の評価規準および、授業の流れと単元の学習活動に応じた具体的な評価の基準を示したものです。

本資料は、光村図書ホームページからダウンロード（Word版・一太郎版）することができます。また、小冊子にもしてありますので、必要に応じてご活用ください。

なお、本資料の活用にあたっては、光村図書が独自の判断に基づいて作成したモデルケースであることをご了承ください。本資料が、学校現場における日々の書写指導に、さらには児童の書写力向上に、少しでもお役に立てればと願っています。



広報課便り

執筆者の原稿をいただき、だれよりも先に拝読し、入稿作業をしていくのは、とても楽しいことです。しかし、そのなかでいささか気がひけるのは、ルビをふる（漢字に読み仮名をつける）ことです。

「国語教育相談室」では、一般の出版物に倣って、常用漢字外の漢字を含む語句と固有名詞には、筆者の了解を得て、ルビをふるようにしています。しかし、筆者が、読者は当然理解しているものと漢字を使われたものに、あえてルビをふっていいものか、いっそ平仮名表記にしたほうがよいのか、一つ一つに迷いながら校正を進めています。平仮名表記が多くなると、筆者の文章の勢いをそぐようにも思われます。ルビをふらなければ表記の統一を欠きます。さりとて、あまりルビがあるのはうれしくないと思われる読者もいらっしゃるかもしれません。筆者が意図的にルビをふる場合もありますが、ほとんどの場合、表記の統一上、ルビがふられているものです。ご寛容ください。

次号予告

●特集テーマ

「国語の力」を育てるV

―言葉っておもしろいな―